

花ひらく春 たしかな未来へ

広津地区に

有害鳥獣焼却炉設置

2,000 万円

アルプス広場 36 ホールを人工芝へ

マレットゴルフ場改修事業

1,599 万円

1 自治会最大 100 万円補助

自治会集会施設省エネ化整備

3,100 万円

町内全体の

登録防犯灯の LED 化

1,100 万円

町の課題解決へ

みらい戦略室の設置

677 万円

高瀬川河川敷に中学生の要望実現

バスケットゴールの設置

140 万円

かえて広場 OPEN!

新しいことがはじまる!

3 月定例会報告目次

8 年度予算と議会意見書 …… 2～3P

議案・陳情と審査結果 …… 7P

一般質問 9 名の議員 …… 10～15P

町民の声 …… 16P

3 月議会動画



議会「意見書」提出し可決！

3月議会の概要

- 3月定例議会：会期 2月26日から3月13日、議案 17件と陳情 1件を審査。全ての議案が原案どおり可決した。また、陳情を採択した。
- 予算決算特別委員会で3日間にわたり令和8年度予算議案を審議した。一般会計予算では、「みらい戦略室」のあり方、国民健康保険特別会計予算では、8年度から始まる新たな課税（子ども・子育て支援金）について論議し、議会として意見書を付けることとし、全議員の賛成で可決した。

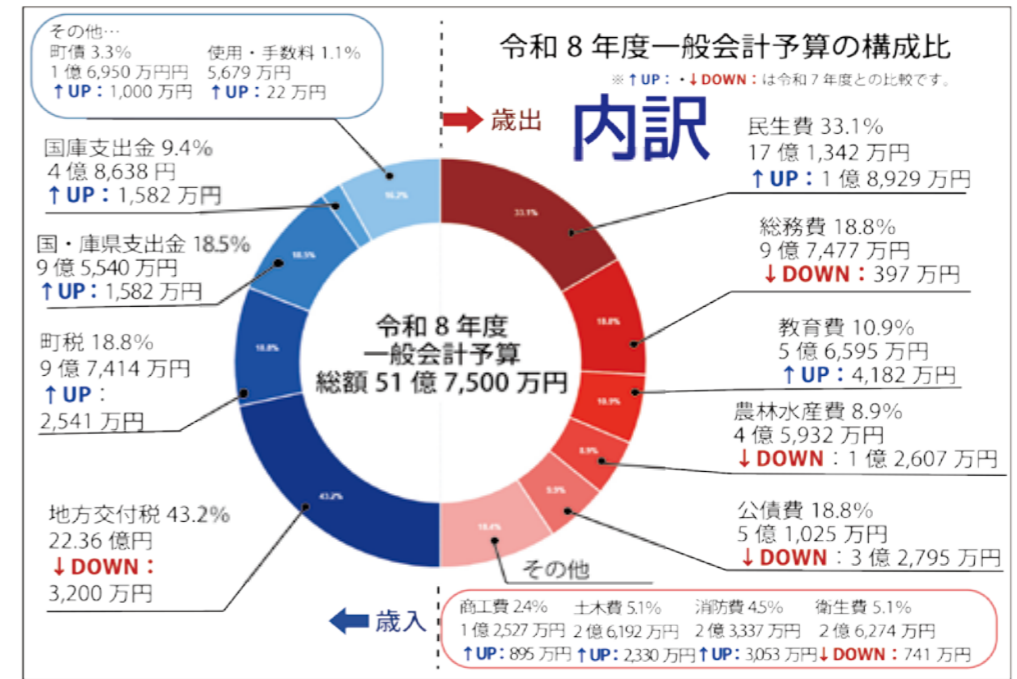
令和8年度予算に対する議会「意見書」のポイント

- 1 一般会計予算では、新たに新設される「みらい戦略室（以後、戦略室）」が実効性ある組織となるよう議会として、町に次の事項を明確にするよう求めた。
 - 1) 戦略はビジョンに基づき策定されるべきものとする。戦略室の新設に当たり、10年後の町の姿（農業・産業・公共交通・福祉など）を理事者・町職員・議会・町民の声を反映させた具体的なビジョンを早期に策定し、明文化すること。
 - 2) 策定したビジョンに基づきその実現戦略とアクションプランを定め、実行管理すること。
 - 3) 戦略実現に向け、適材適所で人材を採用・活用する具体的な方針を示すこと。
 - 4) 役場庁舎、小学校、葬祭センターなどの老朽化対策の方針を、戦略室の重要任務（ミッション）として、位置付けること。
- 2 国民健康保険特別会計予算では、国の「子ども・子育て支援法」の改定により、8年度から「子ども・子育て支援」納付金（※）が始まる。物価高騰下での町民負担を抑えるため、国保基金の活用などの軽減策を検討することを求める。

※国は児童手当の拡充や妊婦のための支援給付などに必要な財源を医療保険（健保組合・国保・後期高齢者医療）の加入者に負担を求めることを決めた。町は令和8年度町国保予算に480万円の納付金を計上し、その財源として所得割率を0.22%上げることとした。これは加入1世帯当たり、平均で月316円程度の負担増となる。なお、国は令和10年度には月平均650円程度の負担増にする予定である。

令和8年度新年度予算

知る



令和8年度一般会計の予算の特徴

- 予算額は前年度予算よりも2億4,300万円の減額となっている。要因は、令和7年度2億7,423万円の町債（借金）の繰り上げ返済を予算化していた為である。それを除けば前年度予算に比べ約3千万円増えている。
- 収入では国の地方交付税に大きく依存する構造は変わっていないが、町税は増えている。
- 支出では、民生費（子ども・障がい者・高齢者などのサービス費、17億1,342万円）が前年度より1億1,800万円増加し、全予算の33%を占めている。公債費・農林水産費の減が大きい。教育費、消防費、土木費は増加している。
- 8年度予算は令和7年度の地方創生臨時交付金などの財源も用い、財政危機緊急対応期間に配慮しながら町民福祉の向上に資する多くの新規事業が盛り込まれており、意欲的な予算と言える。

令和8年度全6会計予算総額は80億225.5万円対前年比3億2,481万円の減

会計区分	8年度	7年度	増減
一般会計予算	51億7,500万円	54億1,800万円	△2億4,300万円
工場誘致特別会計予算	608.5万円	608.5万円	0
国民健康保険特別会計予算	10億1,000万円	10億2,200万円	△1,200万円
後期高齢者保険特別会計予算	2億3,900万円	2億71万円	3,829万円
池田町水道事業会計予算	5億2,527万円	4億6,886万円	5,641万円
池田町下水道事業会計予算	10億4,690万円	12億1,141万円	△1億6,451万円
計	80億225.5万円	83億2,706.5万円	△3億2,481万円

町実質公債費比率の推移と予測値



【町財政の見通し】（令和8年3月、町財政シミュレーションによる）

- ・町基金（貯金）は、R8からR11で23.7億円から24.8億円と1.1億円増加し、町債（借金）は、52.5億円から41.1億円と11.4億円減少する。
- ・実質公債費比率も低下傾向にあり、町財政は改善傾向にあると言える。しかし、町インフラは今後、更新時期に入るので慎重な財政運営が求められる。

※実質公債費率とは…
公債費（借金返済予算額）÷（標準財政規模：通常の住民サービスに必要な経費）

新規事業

※表紙以外の新規事業

- デジタル無線機配布（全自主防災会） 951万円
- ガバメントハンター人材育成 220万円
- 消防団詰所新築工事 消防団2分団2部詰所（相道寺） 2,965万円
- 旧広津小学校・保育園の解体 4,399万円
- スマート・テロワール推進事業：予算額 200万円
- 野あそび保育あいそめ 子ども子育て支援金給付 6,783万円
- 町営バスマント試験運行：予算額 50万円 お電話で前の日にご予約を！
- 草刈り隊 75万円
- 中学生へ自転車購入費補助：予算額 45万円
- 公共施設LED化関連 5,137万円 やすらぎの郷・総合体育館など
- 美術館運営方法検討会議 19万円

予算審査 質疑

本会議の討論と結果

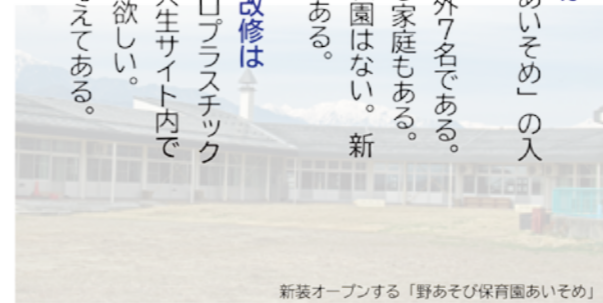
議会では予算決算特別委員会（全議員で構成）で、行政から出された予算を審議します。行政に対して事業内容に関する質問、金額の内訳、見直し、適正かどうかを審議します。

Q 地域公共交通計画の策定をテマンド交通で国の補助金を利用するには、地域公共交通計画の策定が必要。策定しているか。
A 未策定である。計画策定の補助もあるため検討したい。

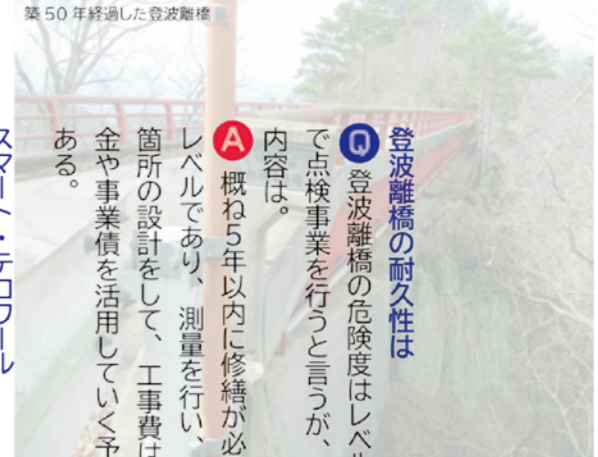
Q 新たな産後ケア事業の支援策は産後ケア事業の利用者負担軽減の詳細は。
A 8年度から課税世帯にも2500円を補助する。
※ 今回の改定で通所型デイケア一人5回まで1回500円で利用可能。

Q 民間保育園の状況は
Q 「野あそび保育あいそめ」の入園申し込み状況は。
A 町内10名、町外7名である。現在、相談している家庭もある。池田保育園からの転園はない。新しく入園される方である。

Q マレットゴルフ場の改修は
Q 人口はマイクログラスチック問題がある。自然共生サイト内でもあるので配慮してほしい。
A 配慮し対応を考えている。



新装オープンする「野あそび保育あいそめ」



築50年経過した登波離橋

Q 登波離橋の耐久性は
Q 登波離橋の危険度はレベル3で点検事業を行うと言っているが、その内容は。
A 概ね5年以内に修繕が必要レベルであり、測量を行い、修繕箇所の設計をして、工事費は補助金や事業債を活用していく予定である。

スマート・テロワール

推進事業の内容は

Q スマート・テロワール推進事業の委託先と委託内容は。社口原で試験栽培を行うのか。
A 委託先は信州池田アグリ株式会社である。委託内容は、鳥獣被害に強い作物や植物、町にマッチする作物や植物の試験栽培を行い開発していきたい。社口原でも実施予定だが、社口原に特化した事業ではない。

Q 草刈り隊の内容は。
A 農ある暮らしを求めて移住してきた方を中心に信州池田アグリで研修し、草刈りに困っている方の圃場に手伝いに入ってもらくことから始める予定で、作業量や成果に応じた報酬も検討中である。

クラフトパークでの

ドッグラン試行方法は

Q ドッグラン試行の内容は。
A 移動式の高さ1m程度のフェンスを4つほど連結し、ステージ周辺に設置する。土・日曜日天気の良い日に管理人を置いて、試験的に行う。

Q 糞の放置にどう対応するか。
A ルールを守るよう努める。ニーズ調査も併せて行う。リードを付けた犬の散歩は今まで通り禁止とする。

8年度一般会計予算での

起債事業は

Q 新規の町債（借金）が約1億7千万円ある。大きな事業は。
A 広津小学校・保育園解体事業（4399万円）、総合福祉センターLED化事業（3305万円）、消防団施設整備事業（相道寺、2965万円）などである。

8年度国民健康保険特別会計予算

の新たな課税について

Q 8年度から新たに課税される子ども子育て支援金480万円の積算根拠は。
A 県から示された納付金額の総額を計上している。

令和8年度一般会計予算

審査結果：全員賛成で可決
賛成討論 薄井孝彦議員

・令和8年度予算は町民福祉の向上に資する多くの新規事業が盛り込まれた意欲的な予算であり、賛成する。
・地域プロジェクトマネージャーを登用する「みらい戦略室」の設置は戦略的課題（外部資金の獲得、移住・定住の促進）などに取り組むものであり、支持する。
・「みらい戦略室」の運用にあたっては、町が目指すべき10年後のビジョンに連動し各戦略を力強く推進されることを期待する。

審査結果：全員賛成で可決
賛成討論 薄井孝彦議員

・町民の健康を支える医療保険制度の安定的運営のために必要な事業が計上されており、賛成する。
・国の「子ども・子育て支援納付金」が含まれている。少子化という国の重要施策の財源となるが、令和8年度から新たに一世帯当たり平均で月額316円程度が賦課され、将来的な負担増も見込まれている。物価高騰に直面する加入世帯への影響は小さくない。加入者の負担感を和らげる軽減策の検討を強く期待する。

令和8年度国民健康保険特別会計予算

陳情 土地の流動化・有効活用支援に関する補助制度の創設・拡充を求める陳情

審査結果：賛成多数で可決

陳情団体：池田町持続可能な農業を考える会 代表 立岩義博（中鷺在住）
内容：町の遊休農地の増加を防ぎ町農業の振興を図るため、農地の賃借、有効活用に伴う経費に関する補助・支援制度の創設または拡充を求める。

賛成討論 薄井孝彦 議員

・美しい田園風景は町のかけがえのない財産である。今、農業者の高齢化のなかで田園風景が維持できなくなる危機に直面している。本陳情は町の存立基盤を守るための切実な願いと受けとめ、採択すべきである。
・陳情が採択された暁には、町農業者に対する支援をさらに強めて頂く事を願う。

賛成討論 三枝三七子 議員

・ここに名を連ねられた、これから真剣に農業に関わりたいと思われる個人の方々こそが、当町の農業に対し大きな布石となると考える。農業就労者の平均年齢が72歳となっている今こそ、舵を切り返さなければこのまま衰退する危機感がある。
・陳情が採択された後、この会の方々とは行政は意見交換を行い、周辺自治体をまねず、当町に必要な条例を真剣に検討して頂きたい。

反対討論 和澤忠志 議員

・陳情者は農業委員であるが、この件に関して農業委員会で論議されていない。農業委員会での論議をお願いしたい。
・陳情内容は個人の財産処分費に関する内容もあり、町の条例改正が必要となる。時間がかかり、令和8年度の予算計上は困難である。以上のことから本陳情は「趣旨採択」が妥当と考える。

反対討論 山崎 正治 議員

・町の農業委員会及び農業事業者の合意形成が最重要であり不可欠。農業委員会での熟議を希求する。
・令和8年度は「財政危機緊急対応期間」であることに配慮した財政運営が望まれる。
・町民の皆様の公平性と公益性が担保されるか疑問視される。以上3点より「趣旨採択」が相応である。

令和8年1月29日に臨時議会が開催され、承認1件、議案3件を審議し、全ての議案を可決した。

審査結果一覧

3月定例会提出案件
賛成…○・反対…●

区分	審査結果	矢口結以	三枝三七子	安部誠	山崎正治	大庭美秋	中山真	大出美晴	和澤忠志	薄井孝彦	服部久子	横澤はま
1月臨時議会	承認	令和7年度一般会計補正予算（第9号）について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案	財産の取得について（会染西部園場 アスパラ雨除けハウス資材購入）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-
		池田町立美術館・池田町創造館の指定管理者指定について	可決	○	●	○	○	○	○	○	○	-
		令和7年度一般会計補正予算（第10号）について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-
3月定例会	議案	池田町特別職の職員等の給与に関する条例及び池田町執行機関の付属機関設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-
		池田町第2号会計年度任用職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-
		池田町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-
		池田町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-
		池田町下水道条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-
		工事請負契約の変更契約の締結について（令和6年度（繰越）農地耕作条件改善事業会染西部地区土層改良（客土）工事請負金額の変更）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-
		高齢者地域支えあい拠点施設の指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-
		令和7年度池田町一般会計補正予算（第11号）について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-
		令和7年度池田町後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-
		令和7年度池田町水道事業会計補正予算（第3号）について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-
		令和7年度池田町下水道事業会計補正予算（第2号）について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-
		令和8年度池田町一般会計予算について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-
		令和8年度池田町工場誘致等特別会計予算について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-
		令和8年度池田町国民健康保険特別会計予算について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-
		令和8年度池田町後期高齢者医療特別会計予算について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-
		令和8年度池田町水道事業会計予算について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-
		令和8年度池田町下水道事業会計予算について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-
池田町土地利用調整基本計画の改定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-		
陳情	土地の流動化・有効活用支援に関する補助制度の創設（または拡充）を求める陳情	採択	○	○	○	●	○	○	○	○	-	

※横澤議長は表決には加わりません。

衆議院議員総選挙

にかかる費用を承認した。

787.7万円

2月8日に行なわれた衆議院議員総選挙に係る予算(専決処分され787.7万円)を全議員の賛成で承認した。

財源:全額国庫支出金

自転車通学する中学生へ

審議結果:全議員の賛成で可決

119万円

一般会計予算に追加する。自転車通学が認められている生徒(通学距離1.5Km以上、119名)の保護者に家計負担を軽減のため1万円を給付する。財源:国地方創生臨時交付金

アスパラ畑できますよ!

審議結果:全議員の賛成で可決

1,375万円

会染西部地区の農地耕作条件改善事業で、アスパラ栽培での雨除けハウス資材購入のため、指名競争入札を実施し、大北農業協同組合と仮契約(1,375万円)を締結した。地方自治法により700万円以上の財産取得には、議会の議決が必要のため議案を提出した。

審議経過

Q 誰が使うのか、なぜ必要なのか。

A 会染西部ほ場第5工区園芸団地で地域おこし協力隊が高収益作物であるアスパラを病害虫防止のハウス栽培(幅2.7m、高さ3m、長さ31.5mのハウス24棟)する。南箕輪村のアスパラ先進農法を参考にし、資材購入する。国の補助率は55%で、受益者負担は36%で、耕作者が分割納付する。

池田町立美術館・創造館指定管理者決定!

審議結果:賛成多数で可決

3,000万円

令和8年1月13日に行った指定管理候補者選定審査会により合同会社「安曇野美術」が指定管理者候補者となったため、指定管理者としての指名を受けたいため議案提出した。指定期間は令和8年度から11年度の3年間。

審議経過

Q 町が合同会社「安曇野美術」を指定管理者として適当とした理由は。

A 代表者は町立美術館での勤務経験が有り、学芸員の資格を持ち見識がある。また、子どもたちへの社会教育(出張美術館での解説など)や収蔵作家の研究が計画にある。



常任委員会報告

なり手不足対策部会

伝える

振興文教委員会

池田保育園へ視察に行きました

振興文教委員会では、「池田保育園と会染保育園の統合後の検証」と「より良い保育環境の提供、保育園と小学校の連携を図る」ことを目的として、1月には池田保育園の視察を実施し、子どもたちと関わらせて頂きながら、施設環境や保育の実態などについて現場を知る機会を設けました。



視察時に「まゆ玉づくり」を見学。

2月には、池田保育園に通う子どもの保護者を対象とした「アンケート調査」を実施し、保育に対する良いところや要望、課題の把握に努めました。これらの調査を通じて現場と保護者、双方の声を踏まえた実態把握を行い、今後のより良い保育・教育環境の整備や、施策検討に繋げていきたいと思っております。

総務福祉委員会

長和町へ視察に行きました

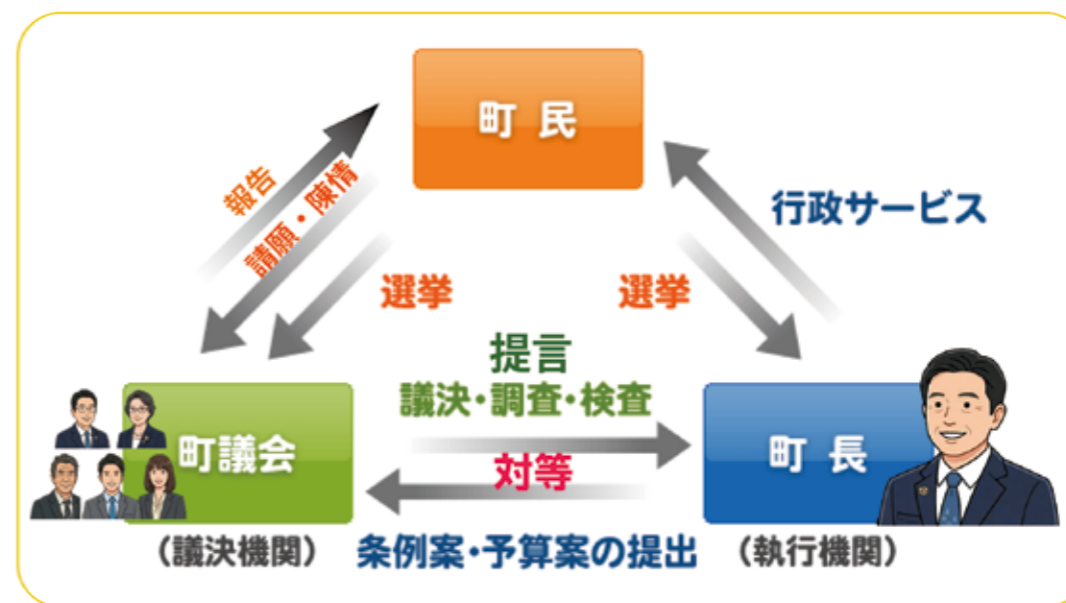
総務福祉委員会では1月22日、小県郡長和町のデマンド交通について視察研修しました。長和町は、1年間の試行期間を経て、令和7年4月からフルデマンド乗合バス（ながわごん）の本格運行を始め、問題なく利用が増えているとのことでした。



【ながわごん詳細】

運賃：1回 300円
 (75歳以上など：150円)
 予約：Web・電話
 運行：毎日 8:00～15:30
 オペレーション：SAVS (Ai)

自宅の前（近くの指定場所）から目的地まで、同じ方向に行く人を乗せて運行します。使用料が安価で財政負担が少なく、コンパクトシティに近い当町に適しているシステムと思われます。今後、委員会として町にこのシステムの導入も含め、より良い公共交通政策を研究・要望していきます。



令和7年度から立ち上がりました（上記）部会は来るべき来年の町議会議員選挙を見据え、また周辺類似自治体の動きや状況を見るなかで、当町議会も議員報酬の見直しが必要ではないか、という声を受け設置されたものです。今回からシリーズで「議会の役割」「議員の仕事」「気になる報酬」「立候補の手順」などを、分かりやすくお伝えします。

～9人の議員が町政を問う～ 一般質問一覧

質問者	主な質問事項	質問者	主な質問事項
中山 眞	1. 新年度予算策定の骨子と長期戦略は 2. 委託費の削減と「企画政策」部署の創設は	服部久子	1. 補聴器購入の補助を求める 2. 子どもの国民健康保険の均等割りの削除を 3. 就学援助の充実を
大塚美秋	1. 「ようこそ町長室へ」の経緯と今後は 2. 内水面氾濫対策への取り組みについて問う	薄井孝彦	1. 災害時「逃げ遅れゼロ」の施策を問う 2. 円滑な避難所開設と運営体制の強化を 3. 「ただいま☆いけだまち」を実現するために、ビジョンと施策の具体化を 4. 歌人「岡 麓」生誕150周年事業の開催を
三枝三七子	1. 農業について町の姿勢を問う 2. 「農業法人信州池田アグリ株式会社」の状況は	和澤忠志	1. 広津の活性化について問う 2. 保育園でバケツ稲づくりを
矢口結以	1. 地域おこし協力隊員のあり方と展望は 2. 多様な学び場にいる子どもと家庭への支援を問う 3. 地域の伝承の継承と行政の役割は	安部 誠	1. 少子化対策として、子育て支援を問う 2. 少子化対策として、結婚支援を問う
山崎正治	1. 池田町の公共交通の最適化を問う 2. 長野県150周年記念を町としてどう取り組むか 3. 学校給食センターで地元野菜や米の活用を		

※次ページから各議員の一般質問があります。

議会は町のルール（条例）と予算を決める場

「町議会って何をしているの？」
 町議会は、町民の代表が集まり、池田町の課題やルールについて話し合う場所です。その主な内容は次の2つです。
 ● 条例（ルール）を作ること。
 ● 予算（お金の使い道）を決めること。
 これらを通じ、町民の暮らしを支える重要な「意思決定」を行っています。

町長と議会の「二元代表制」

国の政治（三権分立）とは異なり、地方自治では町民が「町長」と「議員」の両方を直接選びます。これが「二元代表制」です。
 ● 町長：ルール（条例）や予算を議会に提案し、議決に基づいて、実際に町を動かす（行政を行う）。
 ● 町議会：ルールや予算をチェックし、決定する。町民の声を行政に届け、提案する。

町長と議会は「対等なパートナー」

町長と議会の関係は、よく車の「アクセルとブレーキ」に例えられます。一方が暴走しないよう、お互いに監視し合いながらも、より良い池田町を創るために協力し合う「対等なパートナー」です。

町議会は、町民の声を町政に届け、行政と一緒に未来を創る大切な存在です。また議員には、一般質問や委員会審査などを通じて、自分の考えを町政に反映させる力があります。あなたも、町議会議員になって自分たちの手で「池田町をより住みやすく作る！」そんな一歩を踏み出してみませんか？



新年度予算策定骨子と長期戦略
中山 直 議員

問 新年度予算で公共施設LED化事業等の維持管理費が約一億円となっている。2027年問題（蛍光灯生産終了）を考慮し、家庭への補助も含めLED化個別計画を立て、優先的に取り扱っていく必要があると思うが。

答 個別に公共施設のLED化の有無を現在確認中。未実施の施設は今後国の交付金等も活用していく。

問 老朽化に伴う下水道事業の骨子と、人口減に連動する収入減による下水道料金の値上げの計画予定は。

答 今後20年間で水道管の3割近くが耐用年数に達する見込み。新年度策定の更新計画に基づき耐震化も含め進めていく。また下水道料金は令和7年水道事業使用料等審議会の答申により、当面は据え置きとするが、物価高騰や人口減など、取り巻く状況の変化を注視しながら検討していく。

固定費の削減と「企画政策」部署創設は

問 現状の9割に届きそうな経常収支比率のなかで長く踏襲されてきた事業の見直しで委託費削減を。限られた職員数で今までの事業を展開していくと業務委託は益々増える。この委託管理をどうとらえているのか。

答 自治体業務が多様化しており業務委託は必要ではあるが、内容を精査し、デジタル活用推進などで削減を図る。

問 単年度単位での予算策定を続けると見誤る危険性がある。そこに長期展望、少なくとも10年先を見据えた町づくり計画が必要。町長の予算編成の考えは。

答 10年スパンの第6次総合計画、3年毎の実施計画に基づき編成を行っている。最小限の公共施設設計委託料や国の交付金活用で自治会要望などにも応えていく。

問 町人口8000人台に突入。職員数が抑制される中、10年後を見据えた企画立案能力が弱くなった傾向がある。庁内各課の調整機能を持つ専門部署を設置し、業務遂行のための立案とその推進を強力に進めていく必要がある。重要課題の少子高齢化問題やDX推進、町長肝いりの政策促進など、調査・データ分析を基にした立案を策定する部署創設を。町長の考えは。

答 指摘の通り企画立案する部署の強化が必要と考えている。庁内事務事業のほとんどは「守り・維持」の部署であり、「攻め・創造・改革」が遅れがちになる。来年度は組織の一部を改正し、総合計画や企画立案を主とする「未来戦略室」の創設で、庁内横断型のプロジェクトを推進していく。



「ようこそ町長室へ」の経緯と今後は
大原 美秋 議員

問 町長就任後、新たな取り組みとして5回実施されており対面で懇談できることは良いことと考える。実施に至った経緯と懇談者について、問う。

答 町民の方々を対象とした懇談会では、大きな声でクローズアップされがちで、一概に否定はしないが、気軽に直接懇談を望む人がいるのではないかと感じました。おかげで男女共に幅広い年代層やグループの方々37組が参加いただいている。懇談内容は、町づくりの提案が多い。

問 町民からいただいた提案や意見は、今後どのように取り扱うのか。

答 個人情報には十分配慮して庁議（課長会議）で報告し、提案された内容が町民益になるか検証をしている。実現の一つとして自治会集会所への省工本補助金制度がある。

問 今後の「ようこそ町長室へ」のあり方と、また、町長が向いての懇談会実施を提言する。考えは。

答 「ようこそ町長室へ」は、私の時間的制約はあるものの、年3回程は開催したい。出向いての懇談会については「ようこそ町長室へ」を外へ移動する形で行いたい。

内水氾濫対策への取り組みについて問う

問 2025年3月に気象庁と文部科学省が共同で公表した「日本の気候変動・予測評価報告書」によれば、極端な高温・大雨の増加が予測されているが、町の内水氾濫に対する対策は。

答 上流部（農具川・岡堰）にある2カ所の取水口の閉鎖や五丁目と鶴山の転倒ゲートにおいて高瀬川に排出している。過去に溢水があった水路は、かさ上げ等の改修をしている。住宅などへの浸水の恐れがある場合は、当事者や地域住民が地元自主防災会や町に要請することで、消防団の防水活動が始まる。役場に土のう袋や砂を用意してあるが、各自自主防災会で準備していただく迅速な対応が可能となる。

問 土のう配備について、土砂を使わず水だけで作れるものが普及してきている。設置時間の短縮、労力の軽減、消防団の負担軽減につながる。避難所運営訓練などで実演していただき推進を提言する。

答 水で作れる土のう推進については、訓練時の実演も含め検討していく。



町の「自主防災組織補助金」を活用することができます！



農業について
町の姿勢を問う
三枝 三七子 議員

問 去年11月から計6回開いた農政地区懇談会の目的と出席者数、割合。そして今後年1回開くとした根拠はなにか。また町の農業の課題は。

答 目的は、農業の現状と課題を共有し継続できる営農体制の構築である。参加延人数は77名で出席率は全農業者数を千二百名とすると、約6%である。昨年度は地区地域計画の作成で地区懇談会を実施してきたが、今後は地元農家の率直な思いや意見を話せる場・共有できる場を、最低でも年1回は設定し、必要に応じ開催をしていきたい。課題の優先順位は、①条件不利農地を含めた将来の担い手の確保・育成 ②農地の集積・集約 ③農業持続の支援策である。

農業法人信州池田アグリ株式会社の状況は

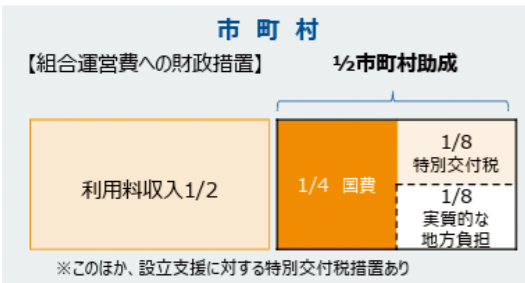
問 事業計画はどうなったか。先日の中で、今年度のアクションを簡条書きで明示されたが、どれくらいの資金を投入するか専任で従事する人を雇用するか。

答 （町長代表になった今、透明性を重視している。株主総会の決定もあるが町としては一般会計から200万円、スマート・テロワール事業費・草刈り隊用の費用で75万円を予定している。人材についてはサポーターの協力など専属の職員が理想だが、現状では職免職員と地域おこし協力隊、将来の人材となるよう尽力する。

提案 池田町の農業者平均年齢が72才であり、待ったなしの状態だ。去年9月にあぐりの増資の際に町内説明会で既存の営業者から、地域おこし協力隊の方をお願いしたいという声が出ていた。そこで提案するのが特定地域づくり組合事業だ。これは総務省が令和2年に設置したもので、設置当初は過疎地域のみだったが、今は人口が急激に減っている自治体で、中小企業等協同組合法に基づき特定地域作りの事業を行う場合に、都道府県知事が一定の要件を満たすものとして認定されたときは、労働者派遣事業を許可ではなく、届け出で実施することが可能とされる。最も魅力的なのは組合運営費について財政支援を国庫から得られ、派遣する人件費、事務所費なども捻出できる。これを利用してボランティアに頼らず、既存の営農法人とアグリが

協同組合を運営し、事業として成立させながら担い手育成に対応していける可能性を提案する。

特定地域づくり協働組合の仕組み。国庫から組合運営費の財政支援が得られる。





地域おこし協力隊活用のあり方と展望は
矢口 結以 議員

問 地域おこし協力隊は、町の戦略や将来像の中にどう位置付けているのか。

答 マンパワー補填ではなく、熱意とスキルを持ち、課題にマッチして発展させられる人材を求める。制度拡充（任期延長、起業補助増等）も活用し町の活性化に位置づけたい。

問 活動の背景や想いまで伝えるため、報告会などの場を設けられないか。

答 現在は広報記事と池田あっぱれ出店等が中心である。隊員の意思を尊重しつつ、町民一歩も踏まえて検討したい。

多様な学びの場「おんこども」と

家庭への支援を問う

問 特別支援学級の体制について伺う。

答 特別支援学級を初めて受け持つ教員もおり、教員が安心感と自信を持って指導支援に当たることができるよう組織として取り組むとともに、学校あるいは町全体での研修を継続して行っている。特別支援教育の視点は、全ての教職員に必要なことであることも踏まえて、今後も対応していきたい。



池田町の公共交通の最適化を問う
山崎 正治 議員

問 行政は新年度デマンド試験運行を模索しているが、時期と進捗状況並びに今後の公共交通のあり方を問う。

答 実施時期については、8月から10月の実施を目標として進めている。試験運行では、事前予約制を住民の皆様にご体験していただき、デマンド交通の可否について検討する。

問 利用機会の拡大や利便性の向上が担保される「ドアtoドア」方式のデマンドバスの導入を検討すべきであるか。

答 デマンド試験運行は、現行の資源を活用し、新たな投資を最小限に実施する。また、ドアtoドア方式は採用せず、停留所のデマンド方式で実施する予定。

問 デマンドバスの最適化を図るためAシステム導入を検討すべきであるか。

答 デマンド試験運行では導入の可否を判断する段階であり、Aシステムの導入を前提とした検討はしていない。

町立美術館と創造館の今後のあり方を問う

問 新たな指定管理者となったが、その経緯と期待度、今後の管理・指導をいかに実行していくのか。

答 「提案内容に実現性があること」と社会教育活動の取り組みを重視し「安曇野美術」に決定した。

適正な運営が行われるよう注視する。

問 美術館運営方法検討委員会の設置時期と内容について問う。

答 運営形態の検討、物価高騰に伴う指定管理委託料の適正化、社会教育施設としての役割等、委員10名、任期1年間で、5回程度の会議を予定する。

長野県150周年記念を町民のみなさんに祝賀するのだ。

問 「信濃の国」の歌詞募集についての町の取り組みは。

答 町民全体に呼びかけることは考えていない。「信濃の国」の歌詞募集について、学習活動とつなげていくことがあるが、各学校に投げかけたいと思う。

問 小中学生に「長野県150周年」をテーマとした探究学習がある。当町の小中学生の参加は。

答 総合的な学習の中で取り組もうとする教員がでるかもしれない。紹介していきたいと思う。

学校給食センターで、地元野菜や米の利活用を

問 給食センターで、地元野菜や米の利活用は、どのようになっているのか。

答 地元野菜は、大北農協から仕入れているので、町村別での割合は把握が困難である。また、お米は今年4月以降より、初年度は約6トンの供給になり、来年度は約10トンの供給の予定である。



浜中公民館バス停



補聴器購入の補助を求める
服部 久子 議員

問 池田町は大北地域で高齢化率が最も高い。全国で500以上、県内で31自治体が補聴器購入の補助を実施している。早急に補助の実施を求めるが。

答 各種サービス増加で令和8年度の予算化を見送った。

問 県は、市町村が地域福祉の充実への取り組みを助成する「地域福祉総合助成金交付事業」がある。手を挙げてはどうか。

答 調べて可能であれば手を上げていく。

子どもの国民健康保険の均等割の削減を

問 町の国民健康保険料は、令和6年に引き上げられ、50歳代の4人家族で所得が300万円の世帯の保険料は、年額43万4千円で所得の14.46%になる。町の子どもの均等割は1人3万1千円で、家族の人数分かかると負担が重い。令和4年度から未就学児の均等割の半額を国、県、市町村が負担し軽減した。国は、令和9年度から18歳まで半額にする方針を出した。残りの半額を国保基金から繰り入れ、18歳までの子どもの均等割の減免を求めるが。

答 国保基金は、予期しない医療費の増加に對しセーフティーネットとして温存する必要がある。子ども・子育て支援金分の国保料が加算されることになり、被保険者の負担抑制のため不足分を国保基金から920万円繰り入れられる。子どもの均等割の軽減に基金の繰り入れはできない。

就学援助制度の充実を

問 町は数年前に就学援助基準を生活保護基準の1.5倍から1.2に引き下げた。国は、2013年から生活保護基準を段階的に引き下げをし、10%引き下げが行われた。それに対し生活保護減額処分の取り消しを求める訴訟が起これ、昨年6月に最高裁で「引き下げは違法」という判断が下された。近年の物価高で子育て世帯の生活は厳しくなっている。就学援助基準を生活保護基準の1.5倍に戻すよう求めるが。

答 令和6年4月から準要保護者認定の内規を改正し、生活保護基準の1.5倍として運用している。

問 町の就学援助受給者が年々減っている。来年度の受給者は何人か。

答 新入学用品の前倒し支給は5人で、4月に申請し、認定になる。

問 就学援助項目にPTA会費、生徒会費、運動着、制服代の追加を求めるが。

答 学用品費やオンライン学習通信費など援助しており、項目の追加は考えていない。

問 伝統行事を持続可能なものにするため、地域任せにせず共に考える場を作れないか。

答 重要性は認識するが、行事によっては政教分離など行政関与の難しさもある。総合教育会議などもあるため教育委員会ともよく話し合いたい。





災害時「逃げ遅れゼロ」に向けての施策を問う
薄井 孝彦 議員

「避難行動要支援者」対象者の見直しを

問 災害時、逃げ遅れゼロを実現するには、特に避難支援が必要な方（避難行動要支援者）の名簿に対象者を網羅することが必要である。名簿に近隣自治体の多くが対象者としている高齢者（80歳以上など）の追加を。

答 町や自主防災会の知る範囲で、不安のある世帯に個別避難計画の作成を依頼しているため、見直す考えはない。

問 自主防災会の役員が毎年変わる所が多いので、支援が必要な対象者を広く知らせた方が自主防災会もやり易いと思うが。

答 自主防災会の意見を聴き検討する。

問 松本市や安曇野市では、避難行動要支援名簿への登載を自ら希望する方の募集を市のホームページで募集している。町も実施を。

答 募集はやぶさかでないが、地域の絆を強めて欲しい。

円滑な避難所開設と運営体制の強化を

問 町は避難所開設などの業務は学校保育課・生涯学習課の職員が担当するとしている。両課で避難所担当の職員は決まっているか。また、避難所運営

の研修・訓練を行っているか。

答 町の「災害時職員初動マニュアル」で避難所担当は組織として対応することになっている。研修は十分でないので検討が必要と感じている。

「ただいま☆いけだまち」を実現するために、「ビジョンと施策の具体化を

問 行政と町民が同じ方向を向き、「ただいま☆いけだまち」を実現するため、10年後の町のあるべき姿（ビジョン）を明確にし、その実現戦略や施策の具体化を。

答 ビジョンをスピーディーに具体化するため、来年度、地域プロジェクトマネージャー（国の制度で地域活性化をマネージメントする人）2名を採用し、「みらい戦略室」を立ち上げ、人口増対策など検討していく。適切なタイミングで町民の声を聞き合意形成を図る。

歌人「岡麓」の生誕150周年事業の開催を

問 本年・再来年で島木赤彦・岡麓は生誕150周年を迎える。両者は強い絆で結ばれており、岡麓生誕150周年を記念して、「二人の絆展」や短歌コンクール、文化探訪ツアーを企画すべきと考えるが。また、先人の情熱を町の文化に根付かせるため、学校教育で郷土の歌人・俳人を学んでの短歌・俳句づくり、短歌・俳句の講演会の開催、岡麓終焉の家の活用を検討すべきと考えるが。

答 提案は検討している



美しい田園風景の保全を！



広津地域の活性化について問う
和澤 忠志 議員

問 鳥獣焼却施設が広津ふれあい広場に決まった経緯について。

答 町中からのアクセス、電気、水道、トイレといったインフラ関係が整っている事から地元自治会との話し合いで賛同を得て早期設置を要望されている。焼却炉自体は煙、臭い、排水を出さない製品とし、施設完成・稼働は令和8年度中を予定している。排水は現状の地下浸透を維持し今後ジビエ処理施設の設置を考え、将来簡易浄化槽等の設置を計画している。

問 中山間農業村整備事業クラウドインガルドン（滞在型市民農園）の構想について問う。

答 現在国の事業採択に向けて県と協議中であるため、決定事項ではなくまだ何も決まっていない状況であるが、今回予定している場所は広津菅の田（すげんた）、予算は一棟約450万円十工賃、大きさは約3坪のものを3棟を予定し休憩場所として考えている。完成予定9年以降となる予定である。

問 桑の葉の生産状況について問う。

答 引き続き宮農団「桑ひろつ」に生産をお願いしている。

問 桑茶の加工は「いけらぼ」で引き続き生産をしていくのか。

答 その予定はしている。

問 保育園でバケツ稲づくりの取り組みについて問う。

答 保育園児によるバケツ稲づくりの取り組みは地域教育や環境教育、また、子どもたちに自然とのふれあいや農業の大切さを体験的に学ぶ機会を提供するものである。地元農業に対する理解が深まることは地域の活性化にも寄与すると考えており、実施する方向で考えている。

問 信州池田アグリ経営会議等の透明性、公開性の担保について問う。

答 町長が代表ということではイコール町民全体が株主であると考えている。会議等についてはメディア等の取材も含む一般町民にも傍聴も含めて担保していくと考えている。



少子化対策について問う
安部 誠 議員

子育て支援を問う

問 保育サービスは多くの研究で出生率を上昇させる効果が認められている。延長保育の朝の時間は7時半からだが松川村のように7時に早めることは子育て支援に繋がる。見解を問う。

答 当町は残業や道路事情も含め、夕方の遅い時間にニーズがあり、現状の時間で考えている。池田町保育園等利用者負担基準額表を見ると負担額が平成29年から変わっており、松川村より、全ての階層で利用者負担が重い（表参照）。子育て支援として、松川村並みに3号認定（3歳未満児）の利用者負担を下げる必要がある。見解を問う。

問 国が定める水準の7割程度に減額しており、安曇野市や大町市と比べて高くはない。保育料が家計に与える影響が大きいことは理解している。県の保育料軽減事業補助を活用しながら子育て支援に取り組んでいく。

答 国が定める水準の7割程度に減額しており、安曇野市や大町市と比べて高くはない。保育料が家計に与える影響が大きいことは理解している。県の保育料軽減事業補助を活用しながら子育て支援に取り組んでいく。

問 育児休業制度も妊娠出産の動機づけになる。育児休業や子育て支援に積極的に参加している会社を認定し、公表している自治体も多々ある。取り組みへの見解を問う。

答 会社の認定については、考えていない。8年度は集落支援員が企業訪問し、働いている方々の声を聞くことを検討している。

結婚支援を問う

問 日本は欧米と異なり、「結婚と出生の強い結びつき」という特徴があり、子どもを持つ選択の前に結婚するハードルが存在している。町内の20〜30代の未婚率並びに50歳時点の未婚率の状況は。

答 直近の令和2年国勢調査の未婚率の数値は20代男性89.4%、女性79.4%、30代男性49.3%、女性30.2%、50歳時点男性30.6%、女性15.2%である。

問 町が実施している結婚支援策は。

答 いけだD（であい）ネットにお見合いのコーディネートなどを委託している。

問 人口減少対策には子育て支援と結婚支援の両輪が必要とされる。国の地域少子化対策重点推進交付金を利用して、支援の充実を図る必要がある。見解を問う。

答 保護者や地域のニーズが高まった場合に、国や県の支援の活用を検討する。

【3号認定池田・松川保育園利用者負担比較表】

階層区分 (市町村民税所得割課税額)	保育標準時間		保育短時間	
	池田町	松川村	池田町	松川村
3	48,600円未満	17,000	8,500	6,000
4	97,000円未満	24,500	17,500	15,000
5	169,000円未満	38,700	26,000	23,500
6	301,000円未満	53,000	42,000	39,500
7	397,000円未満	63,500	58,000	53,500
8	397,000円以上	73,000	67,000	64,500

※健康児のふたり親世帯の1人目の子どもと比較する。

(各町村HP資料から安部作成)



町の人の声



行政のチェック機能を期待！

常山剛雄さん 地区：堀之内

いま、自治体は国から地方創生や子育て支援など次々と新しい業務や計画案の策定などが要求されていますが、財政が厳しく職員も減っている中で、業務の外注や外部コンサルタントに頼るケースも多くなっています。

最近では自治体の首長の暴走や、不祥事も相次いでいます。議会の行政をチェックする役割はとて大切になってきているでしょう。

暮らしのこと

村端徳子さん 地区：滝沢

私のような高齢者にとって、議会は遠い存在。いま一番気になっているのは、車に乗れなくなったら日々の暮らしがどうなるのか、これ以上物価が上がったり配偶者が倒れたりしたらどうなるのかということ。議員さんには住民の暮らしの様子を知り声を聞いて町の施策にしっかり反映させてほしいです。

テーマ

議会にお願い！

こんなこと…
あんなこと！

ご意見書いてみました。



このページは、皆さんの町政・議会へご意見や、お考えを掲載しています。取材に行きましたらご協力下さい。

強みを生かした町作りを！

T・Dさん 地区：2丁目



知人が集まるとよく人口減少問題が話題になります。北アルプスの絶景、大型商業施設や病院の充実など、池田町が住みやすく魅力的な町であることはみんなの共通認識です。今後は、この強みを生かし、明確な将来ビジョンをもってまちづくりに取り組む必要があります。議会にはこうした住民の声を反映した政策提言やチェック機能を果たすことを期待しています。



町民は社長で、
議員は社員！

須原理江子さん
地区：内鎌

数年前に気候危機に関心を持った事をきっかけに、議会傍聴に行くようになりました。傍聴席に町民が一人でもいると、議員の方々の意識が変わるような空気感を毎回感じています。議員と町民の関係性は本来、町民全員が「池田町」という会社の社長で、議員の方たちはその会社の社員のようなものだと思います。なので社長は時々、雇用している社員がきちんと働いているのかチェックしないといけません。それが選挙であったり、傍聴する事なのだと思います。でも実際、傍聴に行く人なんてほんの一握りです。ですので無作為で選ばれた町民を数人、議会の傍聴に来てもらうようにしたらどうかと思います。傍聴に行ってみると、私たちの一番身近な町の政策がこんなふうに決められていっているのかと新たな気付きにもなります。議員の方々も町民もお互い刺激し合っているいい町づくりが出来たらと思います。

【編集後記】

安部誠

3月定例議会開催中の2月28日に米国とイスラエルはイラン攻撃を開始しました。そして、日本の原油輸入の約9割が通過するエネルギーの大動脈のホルムズ海峡は閉鎖されました。影響は当町にも及び、ガソリン価格は一時200円近くまで高騰し、私たちは他人ごとではない事を肌で感じました。戦争の終結を願うばかりです。

既に、当町においてもコロナ禍後の物価高騰は町民の生活に留まらず、町財政にも深く影響を及ぼしています。

このような状況下でも編集委員は知恵を出し合い、手に取り読みたくなる「議会だより」を目指し、多様な町民の皆様の声聞き、町民の皆様と共に町の未来を展望していきたいと願っております。

【議会報編集特別委員会】

委員長
副委員長
委員

薄井孝彦
服部久子

三枝三七子

安部 誠

和澤 忠志

次回議会だよりは令和8年7月22日を予定

発行/池田町議会 ©企画・編集/議会報編集特別委員会

●住所 長野県北安曇郡池田町大字池田3 2 0 3 - 6 (池田町役場内) ●TEL:0261-62-3131・FAX:62-9529

●E-mail:gikai@town.ikedamachi.jp ●ホームページ:https://www.ikedamachi.net/